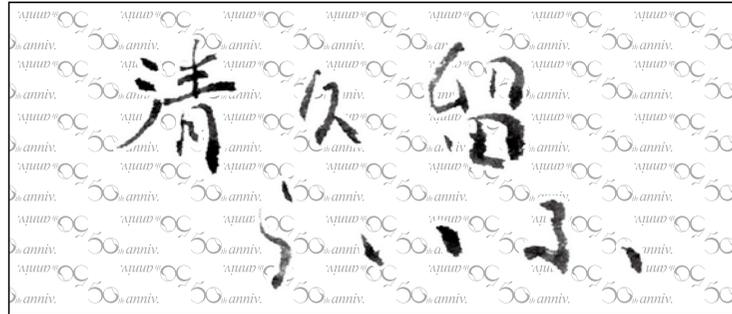


第8回 写真コンクール はじまります

あなたのとおきの一枚をお待ちしています。
※詳細は9月の群会議でお知らせします



発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部教育宣伝部
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
発行者 長谷川 重之
編集者 本島 厚司



上：現存する唯一の外気舎だが小屋の周りは雑草が茂る



清瀬の戦争史跡を訪ねる

7月7日(日)、教育宣伝部とシニア友の会で清瀬市の戦争史跡を訪ねました。雨の中の史跡巡りとなりましたが、様々な発見がありました。参加者の感想を紹介します。

『町ぐるみの活動が必要』

シニア友の会と教育宣伝部 だと感じた。

だけで、次回は広い年代に呼び掛けたい。自分の暮らしている地域なのに、知らないことが多くあった。石碑などの保存が悪い物もある。

『平和の問題でもオール』

清瀬久留米」ドキュメンタリービデオ

「わが町清瀬・戦争と平和を歩く」は、初めて見ましたが大変すばらしい内容でした。小雨の降る中での戦争跡散策でしたが、三ヶ所ともとても有意義な見学体験となりました。

『二度と戦争をするべきではない』

清瀬の史跡を皆で見学させていただき、二度と戦争をすべきではないと改めて感じさせられました。

清瀬市が平和を守る取り組みで努力しているのに比べて、東久留米市は非常に遅れていることを痛感しました。

『B29が墜ちた』

こんな身近な所に米軍のB29が墜ちたところがあるなんて思いもしませんでした。74年前に私はこの年に生まれました。

今日は教宣部とシニアの共同でしたが、青年部や主

『戦争とは最大の』

人権侵害

憲法を変えて、日本を戦争する国にしようとしている方々がいる。彼らは日本を守る為に、憲法を変えるという。1機116億円もする戦闘機を100機以上も買ったり、護衛艦を空母

『清瀬と戦争』

清瀬に戦争のことなどがあると思っていま

『選挙に行こう』

私は戦争体験者ではない。幸運にも今までは。このまま体験することなく生きていけるのだろうか。そのカギは今回の選挙にかかっていると思う。みんな選挙に行こう。

外気舎記念館とは

清瀬市の国立病院機構東京病院内にある、傷痍軍人の結核療養施設。1939年(昭和14年)に建てられた。かつては72棟あった外気舎(小屋)も現存するのは1棟のみで、記念館として保存されている。 ※傷痍軍人とは戦争によって傷ついた軍人のこと

『戦争の爪痕』

戦時中、清瀬もあの戦争の中にあった。空襲もされ、B29が墜落し、学童疎開もあった。戦争とは最大の人権侵害です。あの時代に戻ってはいけません。日本国憲法を大事にしていきたいと思います。

『平和』

平和の塔はじめてです。清瀬病院があったそうです。五千人もの患者が入院していたと聞きびっくりしました。東京病院の結核隔離棟も初めてです。B29パイロットの慰霊碑も初めてです。ありがとうございます。

『東京病院』

東京病院の土地の広さには一万坪と書いてあったが、一万坪は東京ドームにしたらいくつ分かなと考えてみたが、ちよつと分らんかった。

『直属分会 高橋 清耕』

「元塩分会 片見学」

『北浅分会 五十嵐留夫』

「松竹分会 阿部史夫」

『三葉分会 小山明憲』

「元塩分会 小蘭昭美」

『元塩分会 石垣雅之』

「事業所分会 片見学」

『清瀬と戦争』

清瀬に戦争のことなどがあると思っていま

『選挙に行こう』

私は戦争体験者ではない。幸運にも今までは。このまま体験することなく生きていけるのだろうか。そのカギは今回の選挙にかかっていると思う。みんな選挙に行こう。

『滝山分会 新海照明』

「青空分会 川本尚之」

10月6日(日) 東京土建の日はじまります

地域とつながる、仲間とつながる、今年の秋は東京土建の日に家族そろって出かけましょう。お祭りが好きなあなた、ぜひご協力ください！たくさんのご来場お待ちしております！

とき 10月6日(日)

午前10時～午後4時 ※小雨決行

ところ 西部地域センター前ひろば
(滝山団地センター)

企画内容

上棟式、建設重機体験、模擬店、ステージパフォーマンス、消防車登場します！他にも楽しい企画盛りだくさん。



起震車も登場します

クルージングは 嬉しい体験

主婦の会東京湾シンフォニークルーズ



主婦の会主催の東京湾シンフォニークルーズが7月2日(火)に行われ、57人が参加しました。幸い

と、すでにバイキング料理が用意されていて、早速担当から説明を受けて、器

三葉分会 菊池喜枝子

おだやかな一日でした。三葉分会では7人が東久留米駅で合流して電車に乗り込みました。ちよつと混み合っていました。先に乗車していた女性が席を立ち「どうぞ」と声を掛けてくださいました。私はびつくりしましたが、杖を持つていたから気を遣ってくださったのだとわかり、「あら、すみません、ありがとうございます」と遠慮なく席に着きました。いよいよ白いシンフォニーが待っている日の出帆橋に着き、乗船してランチの席に着くと、すでにバイキング料理が用意されていて、早速担当から説明を受けて、器を持って料理選びに何度も廻りながら他の皆の顔を見ると、ニコニコでした。気が付くと船はすでに動き出していて、「あらずい分静かねー」と窓から海を見たら、波はおだやかなさざ波です。何分過ぎたのかわからなかったですが、シンフォニーは、東京湾の中のハートラインをクルージングして行きました。これが私には特に嬉しい体験でした。広い海に船や長い橋、羽田空港、めずらしい船等と風景を楽しんでいるうちに、あつという間にランチタイムは終わりになりました。その後築地の場外市場を見学し、好きなものを買いて帰って楽しんだ一日でした。



慣れないタッカーを使ってミニ畳を作る体験者

水色・ピンクの畳

キッズお仕事体験

7月14日(日)、イオン東久留米店で「キッズお仕事体験」が開催されました。催され、我々は「ミニ畳教室」を行いました。当日はあいにくの雨でしたが開店と同時に多く

7月14日の親子で賑わいました。今回、畳表は8色用意しました。以外にも、水色、ピンク、藍色が人気で直ぐに完売してしまいました。また、縁も12種類用意し自由に選べる様にしました。子どもが「これとこれ！、親は「こっちの方が良くない？」と楽しそうに選んでました。製作にはタッカーを使用

青空分会 長谷川重之

湧水

建設労働者は 身体が資本



行ったとき、脚立がすべり腰から落下、足腰動かなく三ヶ月間労災保険の世話になりました。5月頃からなんとか動けるようになり、震災の年に胃がんで手術をしてから、7年目の検査予約をしました。大雪で雪かきの手伝いに

検査では「胃は大丈夫だけど、血液検査で腫瘍マーカーが高いから胸のCTを撮った」と言われCTを撮ることにしました。撮影したところ、今まで無かった影があるといわれ、呼吸器科の先生に診てもらい、一泊入院で細胞を取ったら肺がんでした。抗がん

剤は体力がもたない、放射線は完治しないと言われ、手術をすることになりました。肺がんは頭に転移しやすいとMRを撮ったり、PETとCTを撮ったりと事前の検査が大変でしたが、9月に手術を受けて半月で退院できました。本当に早期発見で助かりました。建設労働者は身体が資本、必ず一年に一度健診を受けて早期ならガンも怖くない。早期発見早期治療、若者ほど健診を受診しましょう。

北浅分会 佐野史朗
[77歳 造園業]